

日本伝熱学会関西支部 第24期 第3回講演討論会
(日本伝熱学会 熱流体イノベーション研究会との合同企画)

日 時：2017年12月22日(金) 13:30-17:00

会 場：龍谷大学セミナーハウス「ともいき荘」2階研修室

〒602-8019 京都市上京区室町通下長者町通下ル近衛町 38

<https://www.ryukoku.ac.jp/tomoikiso/index.html>

13:30-14:15 伊藤 啓 氏 (京都大学原子炉実験所)

題 目：原子炉内の混相流現象の数値解析

概 要：種々の流体によって形成される混相流現象の評価は、原子力などの様々な分野で特に重要な課題となっている。本研究では、界面追跡法に基づく高精度数値解析によって、混相流の複雑な挙動を評価した結果を示す。

14:15-15:00 樋渡 功 氏 (株式会社日阪製作所 熱交換器事業本部)

題 目：プレート式熱交換器内の現象理解に関する数値解析の活用

概 要：プレート式熱交換器における伝熱プレート内の温度・流量分布の把握は最適設計において重要となる。設計時においては改善点抽出に、実使用時には器内閉塞(スケール付着)メカニズムの理解に数値解析を活用した事例を紹介する。

15:00-15:20 休憩

15:20-16:05 岸本 将史 氏 (京都大学大学院工学研究科)

題 目：ナノスケール3次元構造解析が拓く固体酸化物形燃料電池研究の展開

概 要：固体酸化物形燃料電池(SOFC)の多孔質電極に関する研究は、その複雑な3次元構造の直接観察が可能になったことで大きく進歩した。3次元観察および関連する技術の概説と、今後のSOFC電極開発の展開について紹介する。

16:05-16:50 寺西 一浩 氏 (積水ハウス株式会社 環境推進部)

題 目：積水ハウスの気候変動への取り組み

概 要：建設部門における脱炭素化に向けて、積水ハウスが参加した国連気候変動枠組条約 COP22, 23について紹介する。また、昨今注目されるESG投資と気候変動の関わりなど、技術と金融が融合した本分野の触りについて紹介する。

16:50-17:00 写真撮影

17:30頃～ 意見交換会

会 場：龍谷大学セミナーハウス「ともいき荘」食堂

会 費：4000円程度

講演会・意見交換会のご出席を関西大学 小田 豊 (oda.y@kansai-u.ac.jp) 宛てに『12月15日(金)』迄にお知らせください。

龍谷大学セミナーハウス「ともいき荘」へのアクセス

- 地下鉄丸太町駅 2 番出口から徒歩 6 分



龍谷大学セミナーハウス「ともいき荘」